

飼い主様より頂きましたメール・お手紙

脱毛症の薬から解放されました

原因不明の脱毛症になってしまい、途方に暮れていたのです。

それまで動物病院で出される薬を何種類も試しましたが、目立った効果は特に感じられませんでした。だけど、薬をやめたらますます脱毛が広がっちゃうんじゃないかと思うと、薬をやめる勇気もなく結局2年間以上薬を使い続けていたんです。

薬をなめてしまうといけないので、塗布後はエリザベスカラーをつけていたのですが、うちの子はエリザベスカラーが嫌い、なかなかつけさせてくれません。なんとか無理やりつけてはみるものの、頭を振り回したり、無駄吠えをしたり。

そのたびにストレスが溜まってしまっていました。私自身もそんな様子を見るのがだんだん心の負担になってしまい、可哀想だけでも薬はやめようかな・・・と半ばあきらめかけていた時に友人から「バランスアルファ」をすすめられたんです。



今までもいろんなサプリメントを試してきましたが、毎回期待外れだったので、バランスアルファが届いた時も「本当に効くのかな・・・」と正直半信半疑でした。

塗っても効果がありました

飲ませ方や量について問い合わせたところ、「飲ませるだけでなく、塗ってあげるとよいですよ」とアドバイスを頂きました。

バランスアルファだったら舐めても安全だし、何より長年の悩みだったエリザベスカラーをつけなくていいなんて!!と嬉しくなったのを今でも覚えています。

合成着色料や保存料が入っていない自然素材だけを活かした飲み物というも私に安心感を与えてくれました。

半信半疑で始めたバランスアルファですが、3ヶ月ほどで以前のキラキラした毛が生えてきたのです。脱毛症に良いと言われるものは全て試してダメだったのに信じられません。脱毛症が改善したことで私自身も薬を使い続けるストレスから解放され、本当に助かっています。

健康と安心感のある生活のために、これからもバランスアルファにお世話になろうと思います。

(30代 女性 福岡県)

痒みが治まり、引っ掻き傷も完治

アレルギーによる痒みが改善しました。

アレルギーによる痒みで、体中が引っ掻き傷だらけ。何年も痒がって困っていました。食事を手作りごはんに換えたり、猫のアレルギーに効果がありそうなサプリメントをインターネットで探して試してみたのですが・・・、残念ながら効果は現れませんでした。



病院に注射を打ってもらおうと、痒がらずに1ヶ月位は状態が安定しているのですが、またすぐに痒みが出てきてしまい、体中が引っ掻き傷だらけ。

ここ数年は、この繰り返しで途方に暮れていました。

ために別の動物病院へ行ったところ・・・

獣医師より免疫力不足と言われ、このバランスアルファをご紹介していただいたのです。

毎日、ごはんに混ぜてバランスアルファを与えました。完全無添加ということなので、バランスアルファを直接引っ掻き傷にも塗ってみました。

与え始めてから最初の三週間位は、良くなったり悪くなったりを繰り返していました。

しかし、体の中で何か変化が起り始めているように思えました。

それから三ヶ月位経ったころには、痒がる様子もなく体中にあった引っ掻き傷もキレイに治ったのです。

これからもバランスアルファで健康を維持できたら、と願っております。

(静岡県 女性)



バランスアルファ通信



愛しいペットの本当のしあわせを願うあなたへ
Vol, 11

株式会社高橋剛商会

〒170-0002 東京都豊島区 巣鴨 2-16-4
TEL 03・3576・5811
FAX 03・3576・5815
フリーダイヤル: 0120・76・5812



今年の夏は「バランスアルファ」で乗り切れそうだワン!



ご存じですか?
どうやって、体温調節をしているか?

犬や猫は、長い短いの違いはあれ、体の大部分を、毛で覆われています。平熱が人間より1.5~2度程高い上に、彼らには、手足のパッド(肉球)以外には「汗腺」がありません。従って、気温がどんなに上がっても、人間のように、汗をかいて、体温を下げるのが、出来ないのです。

夏バテや熱中症にご用心!

犬は、「開口呼吸」(口を開けてハアハアと息をする)による放熱で、

猫は、「涼しいところを見つける天才」の言葉通りの場所を見つけ、体温を極力上げないように、だらしと伸び、時々、体をなめたりして、しのぎます。

ウサギ・ハムスター・リスなどは、高温多湿に弱いのでこの時季、特に注意が必要となります。

コミュニケーションがとれない動物だからこそ、日ごろの症状をよく観察し、注意を払ってくださいね。

体温の放散が妨げられて体温が高くなると、体温の産生を減らし平熱を保とうとします。なので、体温の素になる食べ物を採らないように身体が反応してきます。結果、食欲がなくなり食事が減り、ビタミンなど身体にとって大事なものが不足してきて、最後には「夏バテ」に・・・。

できるなら、元気に夏を乗り切りたいもの。

やはり、予防が一番。

「バランスアルファ」モニターキャンペーン 先着20名様限り!

無料でお試しできることを、あなたのペットつながりの方に教えてあげてください。



ご請求方法はカンタン!



お電話の場合は・・・通話料無料のフリーダイヤル
0120-76-5812
(9時~17時、土日祝休み)



FAXのご場合は・・・別紙、サンプル申込み用紙に必要事項をご記入のうえFAXするだけ。



インターネットの場合は・バランスアルファ で検索。

※無料サンプルは1人でも多くの方に試して頂けるよう1家族様一本とさせていただきます。

夏バテになりやすい犬

- ブルドッグなどの短頭種
- 北方犬種
- 子犬
- シニア犬
- 小型犬
- 肥満気味の犬
- 心臓病や、呼吸器にトラブルを抱える犬



水分補給

体の中の水分量が15～20%失われると死に至ると言われるくらい、水分は生きていくのに大切な要素です。水分不足になると、尿結石ができやすくなったり、急性腎不全や循環器障害、消化管潰瘍などにも影響し、多機能不全につながります。いつでも新鮮な水を飲める状態にしてください。

食事管理

夏はエネルギー要求量そのものが低下します。ある程度食欲が落ちるのは、体温を調整するための正常な反応ともいえます。食欲が落ちているときはすぐに食事内容を変えるのではなく、普段通りの食事で少し様子を見ます。特別な食事に変えれば、以前のを食べなくなってしまったり、食べ慣れない食事を与えると消化不良を起こしたりすることもあるからです。食いつきを良くした嗜好性が高いものは、その分高脂肪のものが多く、消化器官に負担をかけるうえに、体内で熱を多く作ってしまうため、夏バテを助長させてしまうことがあります。消化活動や、栄養素やエネルギー量のバランスを十分に考慮することが大切です。

次のような症状は「夏バテ」ではなく熱中症の疑いが

- 呼吸の仕方が、浅く、速い。
 - 口を大きく開き、舌が口の横から出ている。
 - 口からヨダレを垂らしたり、泡を吹いたりしている。
 - 体温が41度以上あり、ぐったりしている。
 - 失禁、嘔吐、けいれん
- 上記の症状が出た場合は先ず“体温を下げてやる”ことですが、いきなり水を掛けたり、水にドボンと浸けてはいけません。“ショック死”してしまう可能性があるからです。冷たく濡らしたタオルで体全体を包むなどして、すぐに動物病院へ連れて行ってあげてください。

気温管理

室内環境が快適なお宅が多いですが、室外と室内の温度差があり過ぎると、自律神経の働きを見出し、体温調節がうまくできなくなったりすることもありますので、室内を冷やし過ぎないようにご注意ください。犬が熱中症を発症する恐れが出てくるのは、気温25℃以上、湿度60%くらいとされています。気温ばかりに気をとられがちですが、実は犬達はどちらかというと湿気のほうが苦手。通気をよくしたり、除湿機を使用するなど、湿気対策もお忘れにならないように。そして、動物病院に運ばれてくるのが断然多いのは・・・車の中。絶対に犬をひとりで車内に残さないようにしてくださいね。

トリミング

中毛・長毛種の場合、暑いからといって肌が見えるほどのサマーカットというのは、被毛にも暑さから体を守る役目があるだけに、カットのし過ぎはかえって逆効果のことがありますので要注意。その後、毛質が変わった、冬に被毛が伸びなくなった……といったこともありますので、お腹だけを短くカットし、体全体は被毛を梳くようにしてあげる、など獣医師・トリマーさんとよく相談してください。

散歩

日中の炎天下のアスファルトはとても熱くなっています。日中の散歩は犬が足の裏をやけどをすることもありますし、人間より体高の低い犬はアスファルトの照り返しをまともに体に受け、熱中症や熱射病を起こす危険があります。熱射病は命取りにもなりますので、夏場は朝晩の必ず涼しい時間帯を選び、水を持参してこまめに水分補給をしてあげてください。

ウサギ・ハムスター・リスなども暑さ対策は必要です。



彼らも体温調節が下手な動物ですので、熱のこもるところや、風通しの悪いところにはゲージを置かないようにしましょう。ふさふさの毛で覆われているため湿気には大変弱いので、除湿機などがあるといいですね。アルミプレートや保冷材を使ったハウスなどの補助的な対策を中心にはいけません。エアコンや扇風機の風や雨が直接当たるのは絶対にタブーですので、充分気をつけてください

ブラッシング 飼い主とペットの大事なスキンシップ法

ペットたちも衣替え。そろそろ夏服に衣替えの季節ですね。



犬や猫たちもこの時期にはちゃんと忘れずに毛の量を調整しながら衣替えをしています。

そんなペットたちの毛の生え変わりの時期には、適切なブラッシングで抜けた毛を取り除いてあげることで、ペットもさっぱりした毛並みで快適に夏を迎えることができます。

定期的なブラッシングがおすすめ

ブラッシングは時間がかかったり、手間暇がかかったりと大変ですが、季節の変わり目だけでなく、定期的なブラッシングをしてあげることで、ペットはとても気持ちよく過ごすことができ、皮膚の健康管理にも役立ちます。

特に長毛種やダブルコートの犬や猫の場合は、できれば週に一度の間隔でブラッシングを行うことが望ましいとされています。

可愛いペットの飼い主の皆さんには是非、定期的なブラッシングをオススメします。また、ブラッシングはペットにとってもリラックスできる時間です。できれば静かな環境で行なってあげるのが良いでしょう。

正しいブラッシング法

まずはペットに静かに話しかけ、軽く身体をなで、落ち着いたところで、やさしくブラシを当ててブラッシングをしてあげてください。根本から毛先に向けてブラシを入れ、毛のもつれを解くよう

にブラッシングします。

ブラシに引っかかる場所があっても無理に引っ張ったりせず、まずは指を使ってもつれをやさしく解いてやり、それからブラシをかけてあげるようにします。

白い毛の犬や猫には、少量のベビーパウダーを使って体の汚れを落としてあげること一つですが、この場合は必ず最後にパウダーを完全にブラシで落としてあげることが重要です。

超短毛種の場合には、濡れたタオルで体を拭いてあげるだけでも十分ですが、通常の短毛種に対しては、やはり定期的にブラッシングを施し、抜け毛を取ってあげるとよいでしょう。

ブラッシングで健康チェック

これからの季節、散歩のたびに草花や虫を体につけてくることも多くなります。散歩から帰ったら耳の中や足の裏などをチェックしつつ、泥などの汚れを簡単に落としておくこと普段のブラッシングが楽に行なえます。

ブラッシングは、毛を整えるという目的だけではなく、皮膚疾患やしこりなどペットの健康状態の異常に気付く機会ともなります。



また、ブラッシングは、ペットとスキンシップを築く時間としてもとても効果的です。

家族の一員でもあるペットに健康で気持ちよく過ごしてもらうために定期的なブラッシングを心がけてみてはいかがでしょうか。

大理石でペットひんやり

暑くなるとパテてしまうんです・・・
エアコンで冷やし過ぎも心配・・・
そんなあなたに、蒸し暑い季節でも安心してペットに使えるグッズを紹介いたします。
大理石のボードは、天然ですのでもちろんウサギやハムスターにも



大人気です♪
お値段の目安ですが・・・
厚みが2～3cm、40cm×30cmの小型犬用で約4000円。
人工大理石で出来たものもありますが、プラスチック等樹脂製のものがほとんどなので、冷やす効果は無いと思います。大切なペットを守る為にも安心安全な天然石のペットボードをお勧め致します。